

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591300049		
法人名	社会福祉法人桜井の里福祉会		
事業所名	グループホーム縁		
所在地	新潟県燕市分水旭町二丁目2番17号		
自己評価作成日	令和2年12月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=1591300049-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和3年1月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム縁は旧分水町の中心地に位置し、商店街が近く歩いて5分ほどの所朝市も立ちます。近隣には郵便局、小学校、理美容室、病院(内科、歯科)が多くあり、入居となってもこれまで利用していたお店に出掛けていく事ができます。

平成25年から認知症カフェとして茶処『えにし』を3回(年間)し、今では毎月開催しています。参加者は10名以内ですが、食事やおやつ作りを一緒に行い、令和1年度には年に3回の昼食会も行い好評でした。

自治会に加入しており、地域のサロンにも毎回参加させてもらっています。サロンの方も高齢の方が多く、事務局をさせてもらっていますので、ホームの認知症カフェの開催チラシと合わせて作成し地域に配布しています。

地域の方々は茶処『えにし』とサロンで行ったり来たりの関係を作っています。

秋には「えにし祭り」を行い、広く地域に案内をしています。手作りの小さな2時間ほどの祭りですが、総勢100名との交流は地域の方も楽しみにしてくださっています。

(※地域の活動はボランティアを含め、新型コロナウイルス感染症対策の為すべて中止となっています。)

認知症ケアの専門職として職員一人ひとりが縁を良くするための気づきを月に2回開催しています。ご利用者のケアでの困っていることとか職員の良い行動など気づきを話し共有しています。

縁の良くする為の大切にするを職員で決め毎朝確認しています。職員同士がおかしいことはお互

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○もうひとつのわが家の暮らしづくり(理念)の実現を目指して

共有スペースに設えられた炬燵には数名の利用者が思い思いの場所で横になり朝寝をし、夕刻には玄関脇の長ソファーに肩を寄せ合って座り、微笑みを浮かべ会話が弾む。そんなゆったりとした時の流れを感じる、そして当たり前の暮らしが見える事業所である。管理者は「地元の利用者も多く、馴染みの地域で第2のわが家になってもらえるように取り組んでいる」と話され、職員は法人理念を根幹とした事業所理念の実現に向け、日々のサービスに取り組んでいる。法人理念は学習会を定期的実施し、職員研鑽を図っており、事業所理念は理念がサービスに結び付くようにと全職員で話し合い「縁が大切にしたいこと」としてまとめ、毎朝の唱和からサービスが開始される。ベテランの職員、新人職員は共に「仕事というよりは、一緒に生活している感じがするんです。」と仕事の印象を話してくれた。安心できる居場所、当たり前の生活、家族のような関係は職員の体感も同様である。立場や経験に関わらず理念の理解に努めようとする事業所姿勢は一人ひとりの職員意識を醸成させ、しっかりと事業所の方向性を持ったサービスに繋がっていると感じた。

○自律を尊重した生活支援の実践

食事の下ごしらえや後片づけ、掃除や洗濯物干しなど、利用者が生活の中で役割を担いながらそれぞれの力を発揮できるよう、なるべく制限をかけずに活動を支援することで意欲を引き出している。各居室には金庫が設置され、利用者本人にお金の管理をしてもらい、外出や買い物に繋がる自己決定を支援している。職員は、「利用者の思いや希望を優先したい」と話し、思いに寄り添い、家族や地域との繋がりを大切にしながら、日々の暮らしや社会参加などの活動支援に積極的に取り組んでいる。